

社会福祉法人 あいのわ福祉会

あかしあ

AKASHIA

今年度最後の理事会・評議員会も無事に終了いたしました。平成22年度の事業計画・予算、次期役員選任等の重要な議案について熱心にご審議いただき、全ての議案が承認されました。

法人として初の取り組みとなる地域支援型多目的施設・あいのわ支援センター谷中（仮称）の建設に伴う工事業者も決定し、平成22年度下期の開設を目指していよいよ着工の運びとなりました。利用者の皆さんの高齢化も進んでおり、法人の果すべき役割にも、多様な対応が求められています。関係者の皆さまの引き続いでのご支援ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

●発行者 社会福祉法人あいのわ福祉会 理事長 岸本美恵子
 ●連絡先 〒121-0012 東京都足立区青井4-30-5
 電話 03(3849)1188
 FAX 03(3849)7001
 ●印刷足立区大谷田就労支援センター
 法人ニュース「あかしあ」隔月25日発行

平成21年度第3回評議員会・理事会報告

・平成21年度第3回評議員会・理事会

開催日 平成22年3月16日（火）

評議員会 午前10時～12時

理事会 午後12時5分～13時50分

開催場所 足立あかしあ園 3階会議室

議案 第1号議案 平成21年度補正予算（案）について

第2号議案 平成22年度事業計画（案）・予算（案）について

第3号議案 定款変更および諸規定の制定・改正について

第4号議案 第9期理事・監事等役員の選任について

第5号議案 第5期苦情解決第三者委員の選任について

第6号議案 谷中施設工事入札価格の決定について

（入札手続き）

第7号議案 谷中施設工事業者決定について

足立区大谷田就労支援センターでは、今年度より新事業体系の就労移行支援事業を開始し、法人として初めての経験である、障がいがある人たちの一般就労を目指した訓練事業に取組んできました。初年度ではありますが、就労継続支援B型事業に在籍しながら一般企業への就労に挑戦した、1名の方の就職が実現しました。また、就労移行支援事業室に在籍しているお1人の方もトライアル雇用に入っています。トライアル雇用終了後の採用が予定されています。まさに、春よこい！の心境です。さらに、B型の1名の方が、3月末からのトライアル雇用が決定しました。

思えばこの1年間、在宅の方、新しく特別支援学校を卒業された方、就労継続支援B型事業から移籍した方と共に、職員も手探り状態のスタートでした。朝の朝礼や他部署への訪問、電話応対等のビジネスマナーの習得や生活訓練を経て、履歴書の書き方、面接訓練等に取り組み、個々人の希望に合わせた企業面談、企業実習等の就職活動を何回となく重ねてきました。

空前の不況下でもあり、中には何十社も面接した方もありましたが、利用者・職員とも諦めることなく、黙々と挑戦してきた証であると大変にうれしく思っています。また、地元のハローワークやあしすと等、関係者の皆さんのご支援があつたればこそと感謝申し上げます。

しかし、ご本人が強く希望したにも関わらず、一般就労に結びついていない方も数名いらっしゃいます。今後も引き続き想いを共有し、共に就職活動に取組んでいきたいと思います。

4月には、他の施設や就労継続支援B型事業に移られる方がおられ、就労移行支援事業室に在籍される利用者の方も大きく変わりますが、この1年間の経験を糧に、新しく入所される皆さんとともに、次の年度も楽しい挑戦を続けていきたいと思っています。

一般就労に向けた取り組み

足立あかしあ園だより

梅の香りと共に春の訪れを感じられる今日この頃ですが、折角の春もスギの花粉がつらい方もいらっしゃると思います。皆様いかがお過ごしでしょうか。

が、春の陽気に誘われて、足立あかし
あ園では各グループで外出活動が行わ
れています。先日、2月12日にはAグ
ループのみんなが新三郷の「ららぽー
と」まで行つてきました。当日は朝か
ら雪も降つていたので寒い1日でした
が、たくさんのボランティアさんに御
協力いただいて、バスに乗つていざ出
発。フードコートで自分の食べたいも
のをお腹いっぱい食べたり、おしゃれ
なお店でのお買い物をしたり、もう少
しじっくり見て回りたいぐらいでし
た。それでも皆さんそれぞれが楽しん
でくることが出来ました。

綾瀬あかしあ園だより

何かと忙しい時期ではあります
が、利用者のみんなも職員も体調には十分
気をつけていきたいと思います。来年
度もどうぞよろしくお願ひ致します。

(鹽田)



竹の塚あかしあの杜きずな
(生活介護入所) だより

ら楽しんでいる姿を見て、この一瞬
瞬を大事にしていく事が、これからに
つながっていくのかと思ひます。
次年度も、全員一丸となつて明るく
楽しく元気に過ごしていきたいと思ひ
ます。宜しくお願ひ致します。 (森)

インにちなんで秘密兵器もたくさん用意され、大いに武器を活用したにこにこグループが見事に優勝！

今年度の最後
の全体行事が2
月中旬に行われ
ました。恒例の
(?) 風船バレ
ー大会で、熱い
繰り広げられま
した。バレンタ
ン

初雪も降り、寒い日が続いていましたが、段々と心地よい風に変わり、春めいてまいりました。皆様いかがお過ごしでしょうか？

きずなでは、先日「豆まき」が行われ、「鬼にボールをあてろ!!」というゲームを行ないました。新聞紙を丸め、豆に見立てた玉入れの様なゲームです。2階3階合同でのイベントで多くの笑顔が見うけられました。対抗

春といえば「桜」ですね!!お花見はどうなつてている事でしよう。桜の開花を楽しみにしている方は多

けて過ごしていきましょう。
3月には今年度最後のバイキングでは
行なわれます。今回のバイキングでは
主食、主菜、汁物、副菜、デザートが
皆様からのセレクトメニューとなつて
おり、この記事が出る頃には、美味し
く、楽しい食事が出来ているのではな
いでしようか？

の変わり目は体調を崩しやすいと言いますが、皆様も健康には十分に気をつけて過ごしていきましょう。



いのではありませんか？

春には新しい仲間との出会いもあるかと思います。新しいきずなを今後とも宜しくお願ひいたします。（松原）

竹の塚あかしあの杜のぞみ
(生活介護通所) だより

名。矢萩裕樹さんと的場美紀さんで
のぞみで初めて迎えた成人者は2
す。



ツクレスは、お母様がご自身の成人式の際つけでいらしたものだそうです。

とプレゼントが
ありまし

「転車室」では、障害者による地域緑化推進事業として、ガザニアの花卉の販売事業を行っています。ガザニアの花線、公園等に植えることでCO₂の削減を目指し、住みよい環境づくりができるとよいと考えています。

また、2月より、個々の利用者の方の能力を生かした何かができるないかと、思い、新しい挑戦を始めました。以前に大工の技術を持つていた利用者の方がいたので、まずはテストを兼ねて他の利用者の方の自助具を作つてもらいました。ご本人の知識や技術を生

大谷田就労支援センター
大谷田ホームだより

お2人へ：これから始まる人生がずっともつと楽しいものになりますように。そして、つらいことや悲しいことがあつても、お2人が乗り越えられますように。そのそばに「のぞみ」がいられたらうれしいです。
(細野)

方からのメッセージ、お花など。のぞみでは式典のたびに、手作りの垂れ幕を披露しています。今回は、成人にちなんで先輩方のありがたい(?)一言カードで「20」という数字をつくりました。それは後日、お2人をメッセージブックに作り変えて進呈しました。

かし、今後も棚
など色々な物を
作つてもらいた
いと思つていま
す。

以上、工賃確
保の新しい取り
組みを行う一

方、自転車清扫の作業改善にも取り組みを始めました。現在、自転車の水洗いを外で行っているのです
が、冬は寒く夏は暑く、利用者の方にとつて厳しい作業条件の中で行つていただいています。足立区の担当の方にも何度か現場を見ていただき、自転車の作業環境も改善でき
そうな目途が立ちました。早く、新しい環境で自転車作業ができるようになるといいなあと思つています。



染谷

ご近所の庭先の梅が紅白きれいに咲いているのを見かけました。寒い日が続いていますが、着々と春は近づいているなと感じました。

2月福祉園では、今年利用者の戸澤衣理さんがめでたく成人式を迎えるられました。利用者の皆さん、衣理さ

んにゆかりのある方々でささやかではあります
が、「成人を祝う会」を1月
7日に行いました。学校時代の先生が
お祝いに駆けつけてくださつたり、事
前にお借りした衣理さんの小さい頃か
らの写真をスライドにまとめて上映し
たり、終始なごやかに行われました。
2月にはグループ外出がありまし
た。1グループは今話題の「ららぽー
と新三郷」へ行きました。車の雑誌や
大好きなアニメのCDなど思い思いの
買物を楽しんだり、ゲームコーナーで
一般のお客さんとレーシングゲームで
対戦したりしました。

2グループは越谷の「レイクタウン」へ行つてきました。4グループに分けた中には、全員が男性利用者

になる班もありました。やはり男性。買物を楽しむというよりも「食」がメイン。昼食はカツカレー、ステーキなどを堪能。食後にはドーナツと「おいしい外出」になりました。

（山井）

神明デイサービスセンターだより

寒さも少しずつ緩み、各地で花の便りも聞かれる今日この頃ですが、神明デイサービスでは 2 月 10 日（水）・19 日（金）25 日（木）に大谷田公園に観梅外出に出かけました。曜日によつては予定していた日に雪が降つて延期になつたりしましたが、最終日は春を思わせる陽気の中、無事外出を終える事ができました。今年の梅は例年に比べると遅いのか、まだ蕾も多くありましたが、花の香りを嗅ぎつつ、隣のバーべキュー場が気になつたりと、「花より団子」



の雰囲気もちらほら…。（笑）人によつては、「お酒もあるといいねー。」など盛り上がり度は外出活動を増やしていくと計画していますので、いろいろな案がでできそうです。さて、巷では冬季オリンピックで喜一憂されたかと思ひますが、デイサービスでも時期を同じくして地デジ対応テレビに移行しました。利用者の皆さんも連日迫力あるきれいな画像に声援を送つていきました。精一杯頑張つた選手の姿に力をもらつた様子でした。これからリハビリにも力が入る事でしょう。

また、3 月には近くの「ゆうあいらんど さの」で、音楽講習会「リハビリテーターズ」の訪問発表がありまます。去年は諸事情により中止になつた催しなので、今年は皆さん普段以上に張り切つて練習されています。初の試みとして、利用者と職員のコラボによる「南中ソーラン」も予定しています。今年度、何事もなくデイサービスの活動ができましたのも、利用者の皆さん



ん・ご家族の御協力のおかげと職員一同感謝いたしております。ありがとうございます。次年度もよりよい活動ができるよう努力していきますので、よろしくお願ひします。

（倉成）

神明福祉作業所だより

早いもので、知的通所授産施設から就労継続支援 B 型事業（あおぞら）と生活介護事業（作業訓練型）（かりん）の多機能型事業所としてスタートして 1 年が過ぎようとしています。

昨年の今頃は、事業申請の書類作成、利用者との契約準備、作業・活動の環境整備と受入準備等々でとても目まぐるしい時間を送つていたはずなのですが、今は随分と前でのきごとのような気がします。職員体制は厳しくなりましたが、業者からの仕事が目減りした年度当初の 2、3 ヶ月を除けば、仕事も活動も概ね順調に進んできています。これも利用者の皆さん、ご家族の方々、ボランティアの皆さん、そして職員の息の合つたチームプレイの賜物と感謝しています。

あおぞらは、これまで以上に仕事を重視し、より高い工賃を目指した甲斐あつてそれなりの成果もありました。が、それ以上に仕事に対する姿勢や責任感が高まり、次のステップへ挑戦して「できた！」という達成感や充実感を味わうことも多く、利用者 1 人ひとりの表情は昨年に比べ一段と引き締まり頼もしくなつてきました。

一方、かりんは、公園清掃や自転車清掃、農園など屋外の作業、散歩・スヌーズレン・音楽ムーブメント等の新しい活動も取り入れ、作業と活動のバランスを試行してきました。更に昨年秋からはじめた『挽きたてコーヒー』の袋詰めと販売は、利用者の「やる気」を引き出す絶好の仕事となっています。神明施設から法人内施設へ、そして地域の皆様へとコーヒーの香りとともに人の輪が広がり、さらにもつと「あいのわ」が地域に根ざしていく事業を展開していきたいと思つています。

新体系 2 年目は、仕事や活動のみならず、1 人ひとりの利用者が住みなれたこの地で暮らし続けられるよう、暮らしの支援にも力を注いで参りたいと



全員集合！

思います。22年度も神明福祉作業所をどうぞよろしくお願ひします。

2月は気温の変化が激しく体調管理が難しい時期でしたが、みんな体調を崩すことなく元気に過ごすことができホツとしています。

ただ今度は花粉症の人には辛い時期、何とか乗り切つてもらいたいものです。

この冬寒いとお散歩にも行けず、そこで夕食の調理に力を入れました。週1回はみんなで美味しい心のこもった食事を作りました。すっかり慣れて上手に作っています。

バレンタインデーに渡すお菓子作りもみんなで挑戦しました。のびのびと楽しそうにやつていました。



グルーピホームオハナだより

(小川)

早いもので今年度も残り少なくなりました。この1年間を振り返ると色々なことが思い浮かびますが、みんなが健康で笑顔の絶えない1年間でしたのでよい年になりました。



あいのわ支援センターだより

◆実績報告(1月~2月)

・居宅支援／移動支援(時間)

身体介護	176時間
重度訪問	96時間
移動支援	166.5時間
合計	438.5時間

・入浴サービス

	人数	実施日
男性	62人	13日
女性	40人	15日
合計	102人	28日

社会福祉法人あいのわ福祉会
第9期理事・監事・評議員 平成22年1月1日～平成24年3月31日
(敬称略)
藤巻暎一、磯部幸子、神代和幸
第5期苦情解決第三者委員 平成22年4月1日～平成24年3月31日
(敬称略)

ます。
2月からは、入浴スタッフから、寒くなつたため入浴剤を入れたらどうか

という提案があり使用しています。初日から好評で、当初は1種類用意して

いた入浴剤を、現在は4種類の入浴剤の中から毎回リクエストで選んでいた

とき楽しんでいただいています。

こういつたスタッフのちょっととした心遣いから一歩一歩サービスの向上を

心がけた支援に携わっていかなければ

と思います。

（青木）

岸本美恵子（理事長）
鈴島妙子（副理事長）
丸山亮子、平田伊三郎、勝又和夫
武内啓友、鈴木真理子
有馬妙子、秋山啓司
横内康行、渡邊正人、今野光信
【監事】佐久間庸夫、高島節郎

【相談役】長井喜三郎

（◎第9期評議員）

岸本美恵子、鈴島妙子
丸山亮子、平田伊三郎
勝又和夫、武内啓友
有馬妙子、秋山啓司
徳丸省一、中村富美子
小金井寛、並木みつ子
山野正雄、磯部幸子
磯前美和子、市川光江
富田潤子、吉本恵美子
斑目幸子、太田則子
末吉正和、小川弘子、萩原邦男

成年後見制度講演会に学ぶ 3月15日(月)足立区庁舎

成年後見制度

判断能力（契約を締結するための能力）の不十分な人達の権利を擁護する制度。

対象者

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者、又、自閉症の人、事故による脳損傷、脳疾患による精神上の障がいのある人。

成年後見制度の2類型

法定後見制度、「後見」「保佐」「補助」

判断能力の不十分な人を、家庭裁判所の審判により支援者を選任し保護する。

任意後見制度

判断能力が低下した後の財産管理や身上監護などに関する事務を信頼する人に委任して、家庭裁判所の選任する任意後見監督者の監督を受けながら遂行する。

判断能力が十分出来ない人へのサギ事件が、後を絶たない昨今、物忘れの多くなった自分と照らし合わせても、出来れば、1日でも長く、自分らしい生活を持続させたいというのが多くの人が持つてゐる願望ではないかと思います。特に障がいのある子と脳疾患等で倒れた配偶者を抱えているご家庭では、それぞれのサービスを受けながらも、自分に何か起きたらという不安は、深刻で重いものがあります。

講演を聞く中で今は、何とか障がいのある子を支えていられても見られなくなった時に備えて、我が子との間に親と自らが選んだ代理人など複数の後見人契約を結んでおくことが大切と思いました。

又、多くの情報（事例）を学び、自分の家庭にとつては、どのような選択をすれば良いのか考えておくべきとも。

（岸本記）

竹の塚あかしあの杜「なごみ」
(平成22年1月～2月)

短期入所事業利用状況

延べ利用人数	65名
内児童	7名
泊	200泊

後援会だより (平成22年1月～2月)

一般会員 (1口3千円)

橋本めぐみ、上原茂紀、霜田文夫

寄付者

西澤歯科医院、西村文雄、渡辺和彦、藤巻暎一、磯部幸夫

★多くの皆様からの後援会へのご加入、ご寄付 有り難うございました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。★

編集後記

年が明けたと思つたらまたたく間に月日が流れ、時はまさに年度末。各施設では、1年間のまとめや次年度に向けての計画作りにと最も忙しい時期に入りましたね。加えて各施設とも次年度は諸般の事情で利用者が大幅に増えることが予想され、その対応にも追われてゐるようです。施設側の工夫はもちろんのこと、利用者側も一人ひとりが状況の理解と納得、ゆずり合いの精神を旺盛に、希望者たちを暖かく迎え入れる姿勢が求められますね。

パンクーバーオリンピックが終了し、次はパラリンピックが始まりました。連日の熱戦にハラハラドキドキされた方も多いのではないでしょうか。熱戦を通して感じたこと。それは心からの応援と多数のボランティアさんたち。どの選手も応援力のすごさを語り、大会を支えたボランティアさんたちの働きこそ金メダルに値すると大きな評価がなされていました。施設作りにおいても同じことがいえますね。大切な施設を今後も皆で応援し、ボランティアであふれる活気のあるものとなるよう更に頑張つて参りましょう。次年度も引き続きご愛読下さいますように。

●後援会加入のおねがい●

当法人の事業及び運営施設の発展を願い、財政的な援助をしていくことを主として後援会活動を行つております。

1人でも多くの方々にご賛同いただき、後援会へのご支援をお願い致します。

申し込み・お問合せは後援会事務局 電話（3849）1188まで